

みずほCustomer Desk Report 2022/05/02号 (As of 2022/04/28)

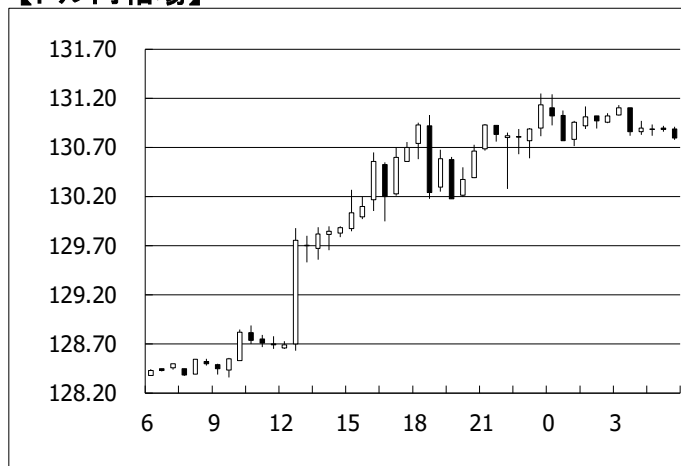
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	128.86
TKY 9:00AM	128.44	1.0554	135.57	GBP/USD	1.2539
SYD-NY High	131.25	1.0565	138.00	AUD/USD	0.7122
SYD-NY Low	128.36	1.0470	135.49		0.7162
NY 5:00 PM	130.80	1.0500	137.42		0.7055
					0.7098
NY DOW	33,916.39	614.46	日本2年債	-0.0600	0.00bp
NASDAQ	12,871.53	382.59	日本10年債	0.2200	▲2.00bp
S&P	4,287.50	103.54	米国2年債	2.6284	3.95bp
日経平均	26,847.90	461.27	米国5年債	2.8471	2.40bp
TOPIX	1,899.62	38.86	米国10年債	2.8311	0.61bp
シカゴ日経先物	27,315	915	独10年債	0.8925	8.60bp
ロンドンFT	7,509.19	83.58	英10年債	1.8760	6.30bp
DAX	13,979.84	185.90	豪10年債	3.0960	▲0.60bp
ハンセン指数	20,276.17	329.81	USDJPY 1M Vol	12.95	1.45%
上海総合	2,975.485	17.20	USDJPY 3M Vol	11.90	1.35%
NY金	1,891.30	2.60	USDJPY 6M Vol	11.18	1.35%
WTI	105.36	3.34	USDJPY 1M 25RR	0.10	Yen Put Over
CRB指数	308.02	2.31	EURJPY 3M Vol	12.51	0.96%
ドルインデックス	103.62	0.67	EURJPY 6M Vol	12.03	0.90%

東京	東京時間のドル円は128.44レベルでオープン。本邦大型連休を前に実需の買いが見られ仲値にかけてドル円は128.80円台まで上昇。その後日銀の金融政策決定会合では、現状の緩和的な政策の維持が発表され、加えて指し値オペを原則毎営業日実施することが明らかになった。これを受けてドル円は130.27まで上昇し、結局130.10レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は130.10レベルでオープン。アジア時間の流れに加え、来週に控えたFOMCでの利上げ予想を背景にドルが買われ、一時は131.03まで上昇。130.93レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は128円台半ばでスタートし、日本のGW前で本邦実需勢の買いが入り128.80近辺まで上昇。その後の日銀金融政策決定会合では予想通り政策金利やフォワードガイダンスには変更がなかったものの、金額無制限の指値オペを原則毎営業日実施されることが伝わりと買いで反応し130円を突破。黒田日銀総裁が記者会見で円安が全体としてプラスであること、緩和的政策継続の姿勢が改めて示される中、買いは止まらず、一時131.03をタッチ。早朝に財務省幹部の円安けん制発言が伝わり、130.18まで反落する場面もあったがすぐに買い戻され、130.93レベルでNYオープン。朝方発表された米第一四半期GDPの速報値が前期比年率ベースで予想外のマイナスとなったことから売りで反応し、一時130.28まで急落するが、押し目買いが入りすぐに持ち直す。その後、日銀とFRBの金融政策の方向性の違いが意識される中、再び131円を回復し、米金利や米株の上昇もあいまって131.25まで高値を更新。午後は買いが一巡後するも131円ちょうど付近で底堅く推移。終盤は小動きとなり、130.80レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05台半ばでスタート。前日のユーロ売りの流れを引き継ぎ1.0500を割り込むも、その後は欧州株の堅調推移やユーロ円の上昇に連れ高となり1.0565まで反発するが、失速後、再び1.0487まで下押し、1.0491レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇が重しとなり、安値1.0470をつける。売り一巡後は1.0500を挟んだレベルでもみ合い。終盤も方向感乏しく、そのまま1.0500レベルでクロス。

担当: 木村

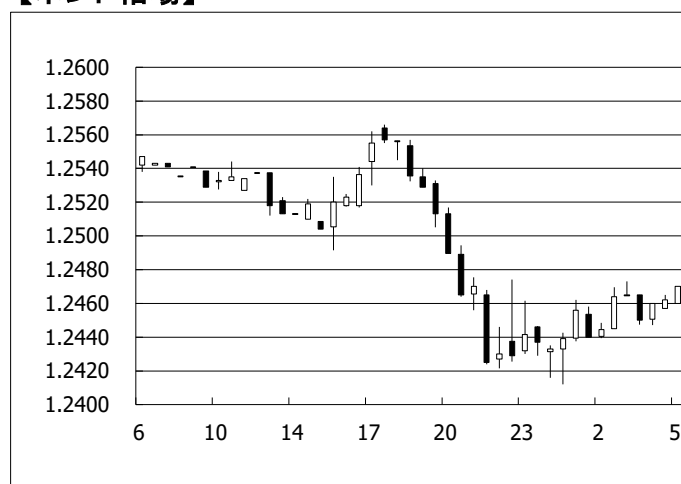
【ドル円相場】



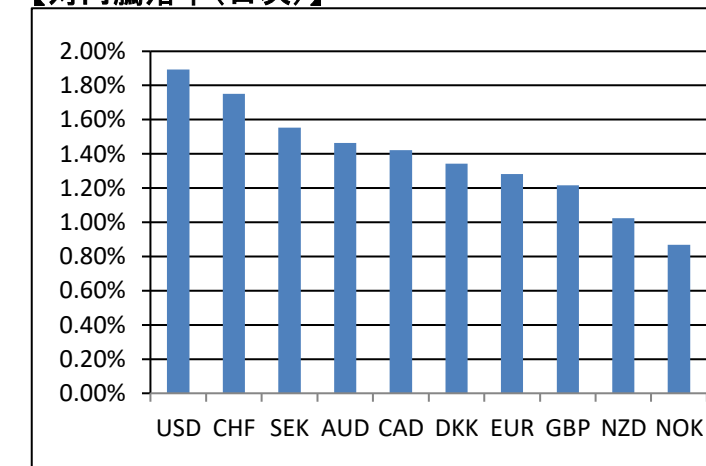
【ユーロ円相場】



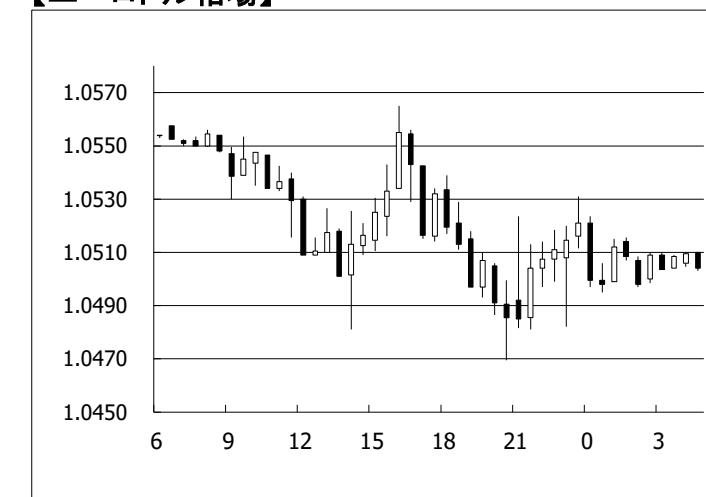
【ポンド相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

市場営業部 為替営業第二チーム
【対円騰落率(日次)】


【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】

